

移転 30 周年記念号

第 64 卷(通巻 268 号)



福島県立図書館 ～信夫山を背に～



30 余年前の図書館建設現場



公開図書室



おはなし会を楽しむ子ども達

夢を夢のままにせず、その実現に向かって努力することが生きることだ

福島県教育委員会教育長 杉 昭重



県立図書館が現在の地に移転してから30年が経過しました。この間、県民の皆様には、当館を知の蔵、先人との邂逅の場として愛していただき、感謝に堪えません。県教育委員会を代表し、厚く御礼申し上げます。

移転30周年に当たり、県立図書館の思い出をひとつだけ書かせていただきます。24歳で日本初の手作りヨットによる単独太平洋横断に成功した岡村精二さんの講演を聞く機会がありました。岡村さんは、森村桂さんの本の中にあつた標題の言葉に感銘を受け、この言葉が、太平洋横断を実行するための大儀となりましたと語っています。私もこの言葉が気に入り、校長講話の中で高校生の皆さんにこの言葉を教えてあげたく出典を調べました。森村桂さんと言えば「天国にいちばん近い島」が有名です。この本だけが学校の図書館にありましたので探しましたが、この言葉は見つかりませんでした。「さあて、困ったぞ、どの本に書いてあるんだろう」と、思いついたのが県立図書館です。県立図書館にはすべての本がそろっている、そこで調べようと、県立図書館に開館時に行きました。書架にあつた森村桂さんの著書をすべて調べましたが、見つけることができませんでした。来館してから5時間、気力も萎えかけてきた時、思い切って司書の方に「他にありませんか？」と聞いてみました。検索をしていただき、倉庫に何冊かあるのがわかりました。持ってきていただき、気を取り直し、また調べました。そして、ついに見つけました。標題の言葉が書いてあつたのは、「Lサイズで行こう」という本でした。この時、丁度、閉館ギリギリの時間でした。

後日、生徒たちには全校集会の時に、この言葉とともに、県立図書館でのことを話しました。平成17年4月、移転21周年の時でした。

移転30周年をむかえて

福島県立図書館長 玉井 章



本年7月22日で県立図書館が福島市松木町から森合に移転して、30周年になります。また、県立図書館として開館85周年の節目の年でもあります。20周年からのこの10年間における社会情勢、図書館を取り巻く環境は大きく変化しました。特に23.3.11の震災、原発事故からの復興・再生は先を見通すこともできず、かなりの長期間にならざるを得ない状況で、このことが館の運営、利用状況等にも大いに影響しています。図書館も地震被害を受けましたが、約1年後の4.28には公開図書室を再開するとともに「東日本大震災復興ライブラリー」を設置し、資料の収集に努めています。

課題も山積みです。平成16年度と26年度の予算規模の比較では、総額で61.1%、図書購入費である資料費では59.0%まで削減、利用者数等の平成15年度と25年度の比較では、入館者数が71.7%、1日平均では67.2%、館外個人貸出冊数は71.1%と低迷しています。震災後の23年度の落ち込みが極端で、その後少しずつ回復しているものの震災前には戻りきっていない状況です。時間による解決に頼るのではなく、様々な工夫、努力を重ねていくことが大事だと考えています。資料費の復元も重要課題です。

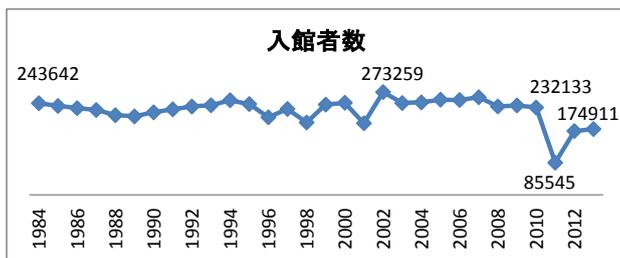
今年度は移転30周年記念事業として、2つの文化講演会、5回にわたる「ふくしまを知る連続講座」、バックヤード・ツアーなどを開催します。来年度以降も文化情報の発信拠点としての役割を継続する予定です。そのため、県公共図書館協会として地域づくり団体に登録し、県内図書館・公民館図書室と一緒に地域づくり、地域文化の進展に一役を担うことにしました。利用しやすい図書館、愛される図書館を目指して引き続き取り組んでまいりますので、より一層のご支援、ご協力をお願いします。

福島県立図書館移転後30年のあゆみ☆当館と県内図書館の主な動向をまとめました

西暦	元号	月	できごと	県内図書館開館状況／他関連事項
1984	昭和59	3 7	朝河貫一資料受贈 中島文庫、佐藤清太文庫受贈 新館開館(主別カOUNTER制を導入、日曜日開館とする) 『児童図書研究室』を設置	双葉町図書館(7月)
1985	昭和60	3 6 9	『中島文庫目録』発行 第36回北日本図書館大会開催 『ふくしまの女性たち』発行	福島市立図書館(4月) 岩瀬村図書館(現・須賀川市岩瀬図書館)(5月)
1986	昭和61	3 4 5 6 8	『佐藤清太文庫目録』発行 児童室のコンピュータ導入稼働開始 協力車運行開始 『視聴覚郷土資料目録 昭和61年3月現在』発行 『福島県郷土資料情報』創刊	
1987	昭和62	3	『郷土資料増加目録 昭和51～60年度』発行	
1988	昭和63	3 8 10	堀切文庫受贈 『福島県立図書館雑誌・新聞目録1987』発行 『福島県立図書館だより』創刊 昭和63年度全国公共図書館整理部門研究会開催	
1989	昭和64/平成元	4 7 10	福島県公共図書館現行購入雑誌保存年限および保存指定館制度発足 (財)日本宝くじ協会より移動図書館車「あづま号」受贈 福島県内大学図書館間相互利用制度発足	矢吹町図書館(4月)
1990	平成2	10	『堀切文庫目録』発行	三春町民図書館(7月)
1991	平成3	11	書庫内電動書架増設完成	
1992	平成4	1 6	『福島県立図書館所蔵朝河貫一資料目録』発行 第43回北日本図書館大会開催	塙町立図書館(4月) 郡山市安積図書館(7月)
1993	平成5			岩代町図書館(現・二本松市立岩代図書館)(4月) 中山義秀記念文学館(4月) 郡山市富久山図書館(6月) 小野町ふるさと文化の館(10月)
1994	平成6	12	福島県立図書館情報ネットワーク事業基本計画策定	
1995	平成7			三春町民図書館移転開館(1月) 東村図書館(現・白河市立東図書館)(10月)
1996	平成8	1 3 9	『児童図書研究室ニュース』創刊 『福島県詩人文庫目録』発行 平成8年度全国公共図書館参考事務研究会開催	大熊町図書館(12月)
1997	平成9			新地町図書館(4月) しらすわ夢図書館(現・本宮市立しらすわ夢図書館)(7月)
1998	平成10			浪江町図書館(4月) 鏡石町図書館(6月)
1999	平成11	4 6	福島県立図書館情報ネットワーク事業本稼働 ホームページ開設 館外貸出冊数を4冊から5冊に拡大 平日の開館時間を午後7時まで延長	伊達町立図書館(現・伊達市立図書館)(4月)
2000	平成12	5	第51回北日本図書館大会開催 『心に虹をかける本』発行 児童図書館員のための連続講座開催(年3回・～平成14年度)	子ども読書年 長沼町図書館(現・須賀川市長沼図書館)(4月)
2001	平成13	11 12	(財)日本宝くじ協会より移動図書館車「あづま号」受贈 館内空調設備工事のため休館(～平成14年3月末)	鮫川村図書館(4月)
2002	平成14	3 4	『比べ読み絵本図書目録』発行 『ふくしまの児童文学者たち 展示資料』発行 4課4係を2部4チーム制に変更 館外貸出冊数を5冊から10冊に拡大 インターネット用コンピュータを公開図書室・こどものへやに設置(8台) 子どもの読書活動研修会開催 電子メールによる調査相談受付の開始	これからも どうぞ ご利用 ください
2003	平成15	10	情報ネットワークシステム更新	福島市西口ライブラリー開館(7月)
2004	平成16	2 7	横断検索システム稼働開始 移転20周年記念「星空ライブ」音楽と朗読のタペ」開催	福島県子ども読書活動推進計画策定(3月) 相馬市図書館移転開館(4月) 田島町図書館(現・南会津町図書館)(6月) 富岡町図書館(10月)
2005	平成17	10	福島県立図書館のあるべき姿「学びの環境づくり」策定	田村市図書館大越分館(3月) 田村市図書館滝根分館(3月) 田村市図書館常葉分館(3月) 田村市図書館都路分館(3月) 福島市子どもライブラリー(7月)
2006	平成18	1 10	個人からのインターネット予約開始 祝日開館開始	南相馬市立小高図書館(1月) 南相馬市立鹿島図書館(1月)
2007	平成19	6 10 11	第58回北日本図書館大会開催 県民参加型「ロビー」展示」開始 文部科学省委託事業 平成19年度図書館地区別研修開催	矢祭もったいない図書館(1月) クローバー子供図書館移転開館(8月) いわき市いわき総合図書館移転開館(10月)
2008	平成20	3 12	「県民を支える図書館」アクションプラン策定及び実施 図書館ボランティア活動開始	福島県子ども読書活動推進計画(後期)策定(3月)
2009	平成21	2 4 10	カウンター体制の見直し(総合案内、貸出登録、調査相談カウンターに統合) 福島大学との図書館利用相互協力協定に基づく運用開始 情報ネットワークシステム更新	白河市立図書館表郷分館(現・白河市立表郷図書館)(6月) 南相馬市立中央図書館移転開館(12月)
2010	平成22	4 6 7	学校図書館活動支援「セット貸出」開始 資料宅配サービス(個人)の部分実施開始 書庫西側電動書架増設完成	国民読書年 福島県子ども読書活動推進計画(第2次)策定(3月) 泉崎図書館(12月)
2011	平成23	3 7 12	東日本大震災、公開図書室天井等の損壊及び図書の大乱・破損のため7月14日まで休館 7月15日よりエントランスホール・こどものへや等で部分開館 資料宅配サービス(個人)の全面実施開始 福島大学、県立医科大学との図書館利用相互協力協定締結	会津若松市立会津図書館移転開館(4月) 白河市立図書館移転開館(7月)
2012	平成24	4 6 11	避難自治体(仮設住宅等)支援事業開始 災害復旧工事(設備)竣工 公開図書室利用再開、東日本大震災福島復興ライブラリー・子育て支援コーナー設置 災害復旧工事(建築)竣工・全館復旧特別企画開催・新聞記事閲覧システム供用開始 北日本図書館連盟研究協議会開催 福島の図書館を考えるシンポジウム開催(主催:日本図書館協会)	
2013	平成25	2 3 7	「復興ライブラリーブックガイド」発行開始 福島県立図書館アクションプラン(第2次)策定及び実施 国立国会図書館歴史的音源供用開始	
2014	平成26	6 7 10 11	第65回北日本図書館大会開催 移転30周年記念事業実施(文化講演会、図書館探検、おはなしかい、華道展、展示等) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス供用開始 情報ネットワークシステム更新 文化講演会開催 文部科学省委託事業 平成26年度図書館地区別研修開催	猪苗代町図書館(4月)

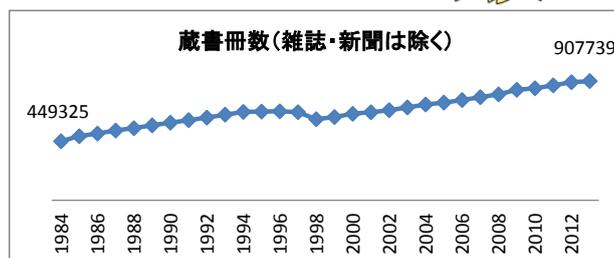
【参考資料】「福島県立図書館報あづま」第49、50、51巻、第55巻第1号／「福島県立図書館要覧」／「図書館年鑑」

利用統計にみる福島県立図書館の30年と‘今’



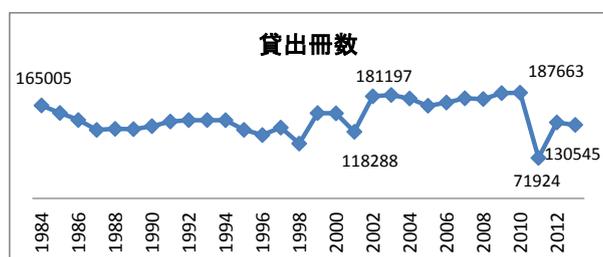
【入館者数】

2002年度に最も多い27万3259人を記録。2010年度までほぼ23～25万人(一日平均800～900人)台を維持してきました。震災後は、2013年度実績で震災前の8割まで回復しました。従来の来館者数を取り戻せるよう地道に活動を重ねる必要があります。



【蔵書冊数】

移転開館年度は44万9325冊。2013年度末で90万7739冊。30年で倍の蔵書冊数となりました。古くなった市町村支援用図書を整理した時期を除き、増加しています。雑誌や新聞(製本)を含むと、2013年度末現在107万177冊の所蔵があります。



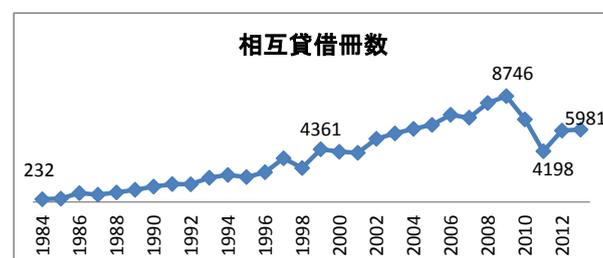
【貸出冊数】

移転開館年度は16万5005冊。工事による休館等で落ち込む年もありましたが、2002年に貸出上限冊数を5冊から10冊に拡大した効果もあって大幅に増加し、2010年度には最も多い18万7663冊を記録しています。震災後は、2013年度実績で震災前の7割までの回復に留まっています。



【調査相談件数】

移転開館以来10年間増加が続きました。その後は増減を繰り返しているものの、1万～1万4千件を推移しており、調査相談というサービスが定着していると見ることができます。震災後は、2013年度実績で震災前の9割まで回復しています。



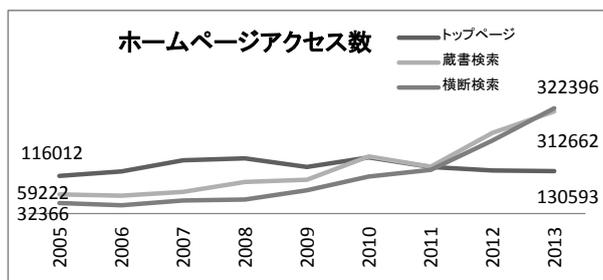
【相互貸借冊数】

自館に無い図書を利用者のみなさんに提供するため他の図書館と貸し借りをするのが「相互貸借」です。移転開館年度の232冊から順調に増加、2009年には8746冊に達しました。ニーズの高まりをよく表しています。震災後は、2013年度実績で震災前年の8割強まで回復しています。



【あづま号での貸出冊数】

移転開館年度は271団体が利用し6万を超える貸出を行っていました。その後、県立図書館直接サービスのあり方を見直すため拠点を統合するなどして、減少を見た時期がありました。近年は増減はあるものの、2万～3万の間で推移しています。震災後は仮設住宅・仮設校を巡回するなど従来と異なる形での活動も行いました。



【ホームページアクセス数】

2012年度から2013年度にかけて蔵書検索ページと横断検索ページへのアクセス数が大幅に増えました。主な要因としては、トップページを経由しないで蔵書検索のページに直接アクセスできるようになったこと、回線の速度向上など、ネットワーク環境の変化が考えられます。

展望 ～次の「記念日」に向けて～

主要なサービスの統計から、当館のこの30年の足跡をたどってみました。時代とともに図書館に求められる機能も変遷するものではありませんが、地域の情報拠点として、また、ふるさと福島の復興に寄与できる存在として、地に足をつけ、工夫をこらし、県立図書館だからできることに、引き続き、取り組んでまいります。

児童図書研究室

福島県立図書館が、昭和 59 年 7 月に現在立地の森合に移転した際、「こどものへや・児童図書研究室」を開設しました。こどもたちへの直接サービスを実践する「こどものへや」とともに、こどもと本を結ぶ活動をする大人のための資料を揃え、児童図書に関する研究機関として「児童図書研究室」を設けました。

「こどものへや」は、開架冊数1万5千冊程度の中小規模の市町村立図書館のモデルケースとして設計され、赤ちゃん絵本から中高生向けの資料を収集し、来館者に提供しています。日常的な貸出や調査相談に加え、幼稚園や学校からの見学・体験学習等で図書館の魅力を伝える活動をしています。また、幼児から低学年向けの「おはなしかい」と乳幼児と保護者向けの「ちいさなおはなしかい」を開催し、こどもたちや保護者をお話の世界へ誘い読書の楽しさを伝えています。

これらの実践活動の中から、市町村図書館への情報提供を「児童図書研究室」として行っています。県内図書館の運営相談や参考図書による調査相談、研修会の開催や講師派遣などの求めにも応じています。市町村図書館の先進事例を参考として紹介するなど図書館間交流を進める役割も担っています。

平成 12 年の「子ども読書年」13 年の「子どもの読書活動の推進に関する法律」の制定など、こどもと読書についての関心が社会全体のものとなってきました。こどもの読書離れを危惧する大人たちの活動が学校図書館の活性化や地域でのおはなしかい開催の活発化などの形になってきています。そんな中、こどもたちの心の栄養となる豊かな読書経験を支え、知的好奇心を満たす資料を手渡していくためにも、図書館は地域の中核となっていく必要があります。これか

らも、福島県のこどもたちの読書環境整備のために関係機関との連携を図りながら、活動の幅を広げていきたいと考えています。

【沿革】

年月日	動き
昭和 59 年 7 月 22 日	森合に移転 こどものへや児童図書研究室開設
昭和 61 年 4 月 11 日	こどものへやカウンター業務にコンピュータシステム導入
昭和 63 年 11 月 5 日	読書週間行事としておはなしかいを開催、以降定例行事として定着
平成 8 年 1 月	『児童図書研究室ニュース』発行開始
平成 10 年 6 月	乳幼児向けの「ちいさなおはなしかい」開始
平成 11 年 8 月	ホームページに「こどものへや」リリース
平成 11 年 8 月 11 日	中高生向け読書案内『LITTLE BIG』発行開始
平成 12 年 5 月	県内の児童図書館員が選んだ50冊『心に虹をかける本』発行
平成 12 年	児童図書館員のための連続講座開催
平成 14 年 3 月	『比べ読み絵本図書目録』『ふくしまの児童文学者たち』発行
平成 16 年 3 月	福島県子ども読書活動推進計画策定
平成 18 年	福島県立美術館との連携事業「アートのおはなしかい」開始
平成 20 年 3 月	福島県子ども読書活動推進計画(後期)策定
平成 22 年 3 月	福島県子ども読書活動推進計画(第 2 次)策定
平成 23 年	子ども読書活動推進研修講座開催
平成 24 年	子ども読書と科学のコラボ事業実施

☆東日本大震災福島県復興ライブラリーを出張展示いたします。

図書館・図書室を対象に、3つのテーマの資料をセットで貸出ししています。

- ① 忘れない！東日本大震災・福島第一原発事故（写真集中心）
- ② 震災・原発事故…被災の体験を伝える（体験記中心）
- ③ 放射線を知る・震災後の心を癒す



愛媛県立医療技術大学図書館での展示

ぜひご利用ください。

また、昨年度の出張展示の様子は、福島県立図書館のホームページでご覧いただけます。

☆福島県地域資料（福島県関係資料）ご寄贈のお願い

福島県立図書館では、福島県の過去・現在を未来へ伝える資料として、福島県に関する資料、福島県にゆかりの方の著作物を収集・保存し、県内外の利用に供しています。

福島県や福島県内各地に関する資料、福島県にゆかりの方の伝記等を刊行された際や、福島県にゆかりの方の著作をお持ちの際には、**2部**ご寄贈くださいますようお願いいたします。

また、福島県立図書館では平成23年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う福島県内の被災・復興に関する資料を特に重要なものにとらえ、重点的に収集に取り組んでおります。

- ・震災関連の写真集・記録集等
- ・被災に関する調査報告書、復興に関する計画書・報告書、自治体が発行した広報誌の震災特別号等
- ・被災地で発行されたミニコミ誌・フリーペーパー等
- ・個人が発行した手記、詩集等（自費出版物も含まれます）

これらの資料を刊行された際にも、**2部**ご寄贈くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ】〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
福島県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チーム
TEL 024-535-3218 E-mail chiiki@library.fks.ed.jp

◎図書の寄贈（平成25年度）

次の団体より図書の寄贈がありました。このほか、被災地支援として多くの方から多数のご支援をいただきました。福島県立図書館をとおして広く皆様の利用に供します。

■新潟県立図書館古本再生市実行委員会

児童書 100冊

■日産自動車株式会社

第29回ニッサン童話と絵本のグランプリ受賞作品
童話賞・絵本賞の2作品を県内図書館・公民館分 190冊

■国際ゾンタ福島ゾンタクラブ

児童図書 79冊(100,000円相当)

■国際ソロプチミスト福島

児童図書 74冊(100,000円相当)

■福島信夫ライオンズクラブ

絵本 61冊(100,000円相当)

■「ありがとう りくぜんたかたプロジェクト」

絵本 60冊

■NPO 法人チームふくしま

絵本 200冊

■中日新聞社・福島民報社

図書 94冊

第64巻（通巻268号）

平成26年7月22日

発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地 TEL:024-535-3218(代表)

ホームページ URL : <http://www.library.fks.ed.jp>